

目次・索引を使いこなそう

～タイトルは仮のすがた 本当のすがたは目次でわかる！～

本のタイトルで想像していたのと、内容がぜんぜん違う！ というのはよくあること。検索して本を見つけたら、今度はその本に必要な情報があるのか確かめましょう。

本はぜんぶ読まなくてもいいんです。目次と索引をつかえば、必要なところがわかります。

1. 目次（もくじ）

目次は、本のどこに何が書かれているかを示す案内図のようなものです。たいていは本の始めにあります。必ず目を通しましょう。

なぜなら、目次を読むだけで本の中身がざっくりわかるから。

目次でわかるのは

- ・内容（どんなことがかかっているか）
- ・本文の流れ（どう説明されているか）

調べたいことが書かれていたら、ページ数を確認。ここで、どれくらいの分量を読めばいいかもわかります。

参考文献	89
ポイント地図	55
おわりに	34
第4章 多摩の空へ誘う	21
第3章 超穴場はどこ	13
第2章 カメラへの期待	8
1-2 各惑星の特徴	5
1-1 惑星とは	3
第1章 惑星の美しさ	2
目次	1
はじめに	

2. 索引（さくいん）

<h3>索引</h3>	
 行	
アイピース	10, 12
アース	→ 「地球」を見よ
アストロ	21
アポロ計画	4
天の川	3, 9, 25
アルタイル	9

索引は、本文に書かれた内容や事柄を抜き出して、一定の順序（あいうえお順など）に並べ、出てくるページをわかるようにしたものです。たいていは本のいちばん後ろ（巻末）にあります。

目次とは違い、どの本にもあるわけではありません。索引があるのは、調べものに使われるような本だけです。

目次	ほとんどの本にある	本の始めにある
索引	調べものの本にある	本の最後にある

<索引の便利なところ>

- ・調べたい言葉が出てくるページがピンポイントでわかる
- ・重要な用語がわかる → 重要な用語は登場回数が多い

ひとつの言葉（用語）があちらこちらのページに登場する場合は、さきほどの図にあるように、すべてのページが書かれています。

<索引で探す言葉が思いつかないときは…>

まだ基本の情報が足りていないということ。

目次を見て用語を確認したり、百科事典を調べたりしてみましょう。

知っておくとレベルアップ

事典や全集では、索引だけを1冊にまとめた巻もあります。

こういった索引巻を調べると、関連する事柄や用語をまとめてチェックすることもできます。雑誌でも索引があることも。



3. 参考文献（さんこうぶんけん）

巻末には、索引以外にも便利なおまけがついていることがあります。よくあるのが「参考文献」といい、著者がその本を書くときに参考にした資料の一覧です（レポートを書くときには、自分でまとめなければいけません）。

こうした資料紹介のある本が1冊見つければ、大当たり。関連する資料の情報を、まとめて手に入れることができます。

お勧めの文献とウェブサイト

第1章

- ・星戦 『遠い昔、遙か彼方の銀河系』 空歩出版,1977年
- ・ニビル 『惑星X』 仮説社,1982年
- ・大日本宇宙研究所 「星の源」
http://www.☆☆△.ne.jp/**/
参照日：2020年7月24日

第2章

- ・北村富士弥 『カメラの選び方』 仁昆書房,2020年
- ・林檎☆ 『黄色い潜水艦』 甲虫社,1973年
- ・「天体写真」 『写真雑誌』 2020年8月号,9p

4. 奥付（おくづけ）

ほとんどの本の最後の方に「奥付」があります。書名、著者名、出版した会社、出版した年月日など、本に関する情報（書誌情報）が書かれています。

本を選んでいるときに、特に注意してもらいたいののが「発行年」。例えば右のような奥付の場合。2006年以降、それ以前は9つだった太陽系の惑星は8つとされました。あなたが探すテーマによって、右の資料は使えたり使えなかったりします。



調べた本は、忘れずにメモしよう！

多摩の小宇宙

～昭和記念公園で惑星を写す～

1998年4月10日 初版発行

著者 星海松

発行者 北弾之輔

発行所 北多摩書房株式会社
〒198-xxxx
東京都立川市〇-△-〇
電話 042-xxxx-xxxxx

印刷 ○×印刷